令和５年度　熊本県立人吉高等学校　五木分校　シラバス

教科	総合的な探究の時間	科目（単位数）	五木分校プロジェクト（１）	学年	２年	類型	普通科

学習 目標	協働的に取り組む豊かな体験活動等を通して、自ら問いを見いだし、課題を立て情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する資質・能力を育てる。 （ア） 地域を理解するとともに、コミュニケーション能力を身につけ、豊かな生活をめざすための技術や感性を磨き、それらをまとめ、表現する。 （イ） 豊かな生活実現に向けて、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識を身につけるとともに、進路に関する意識を高め、自らの進路実現を達成する。

期間	単元（学習内容）	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法
【１学期】 ４月 ～ ５月	オリエンテーション 圃場準備（除草作業、整地、畝作り）	・班で協働して作業するためには、どのような声かけや、どのような行動を取れば良いか、理解できている。 ・各作業（農作業、自然観察）の持つ意味を理解している。	・班で協働して作業するためにはどのような声かけをすれば良いか、どのような行動を取れば良いか、適切に判断することができる。 ・各作業の持つ意味を理解して、レポート等にまとめることができる。	・班で協働して作業するために、適切な表現を用いて声かけをしたり、適切な行動を取ることができる。 ・各作業（農作業、自然観察）の持つ意味を理解して、発表することができる。	①授業態度
【１学期】 ５月 ～ ６月	・苗の植え付け ・支柱や棚の設置 ・生育管理	・班で協働して作業するためには、どのような声かけや、どのような行動を取れば良いか、理解できている。 ・各作業（農作業、自然観察）の持つ意味を理解している。	・班で協働して作業するためにはどのような声かけをすれば良いか、どのような行動を取れば良いか、適切に判断することができる。 ・各作業の持つ意味を理解して、レポート等にまとめることができる。	・班で協働して作業するために、適切な表現を用いて声かけをしたり、適切な行動を取ることができる。 ・各作業（農作業、自然観察）の持つ意味を理解して、発表することができる。	①授業態度
【１学期】 ６月 ～ ７月	生育管理（棚の補修、土かぶせ、除草） 収穫祭	・班で協働して作業するためには、どのような声かけや、どのような行動を取れば良いか、理解できている。 ・各作業（農作業、自然観察）の持つ意味を理解している。	・班で協働して作業するためにはどのような声かけをすれば良いか、どのような行動を取れば良いか、適切に判断することができる。 ・各作業の持つ意味を理解して、レポート等にまとめることができる。	・班で協働して作業するために、適切な表現を用いて声かけをしたり、適切な行動を取ることができる。 ・各作業（農作業、自然観察）の持つ意味を理解して、発表することができる。	①レポート ②授業態度
【２学期】 ９月 ～１０ 月	探究活動	・班で協働して作業するためには、どのような声かけや、どのような行動を取れば良いか、理解できている。 ・どのようなツールで調べるか理解できている。	・班で協働して作業するためにはどのような声かけをすれば良いか、どのような行動を取れば良いか、適切に判断することができる。 ・調べた内容をレポートにまとめることができる。	・班で協働して作業するために、適切な表現を用いて声かけをしたり、適切な行動を取ることができる。	①レポート ②授業態度
【２学期】 １０月 ～１１ 月	探究活動	・班で協働して作業するためには、どのような声かけや、どのような行動を取れば良いか、理解できている。 ・どのようなツールで調べるか理解できている。	・班で協働して作業するためにはどのような声かけをすれば良いか、どのような行動を取れば良いか、適切に判断することができる。 ・調べた内容をレポート等にまとめることができる。	・班で協働して作業するために、適切な表現を用いて声かけをしたり、適切な行動を取ることができる。	①レポート ②授業態度
【２学期】 １１月 ～ １２月	探究活動	・班で協働して作業するためには、どのような声かけや、どのような行動を取れば良いか、理解できている。 ・どのようなツールで調べるか理解できている。	・班で協働して作業するためにはどのような声かけをすれば良いか、どのような行動を取れば良いか、適切に判断することができる。 ・調べた内容をレポートにまとめることができる。	・班で協働して作業するために、適切な表現を用いて声かけをしたり、適切な行動を取ることができる。	①レポート ②授業態度
【３学期】 １月 ～ ２月	探究活動	・班で協働して作業するためには、どのような声かけや、どのような行動を取れば良いか、理解できている。 ・どのようなツールで調べるか理解できている。	・班で協働して作業するためにはどのような声かけをすれば良いか、どのような行動を取れば良いか、適切に判断することができる。 ・調べた内容をレポート等にまとめることができる。	・班で協働して作業するために、適切な表現を用いて声かけをしたり、適切な行動を取ることができる。	①レポート ②授業態度
【３学期】 ２月 ～ ３月	探究活動・発表会	・班で協働して作業するためには、どのような声かけや、どのような行動を取れば良いか、理解できている。 ・どのようなツールで調べるか理解できている。	・班で協働して作業するためにはどのような声かけをすれば良いか、どのような行動を取れば良いか、適切に判断することができる。 ・調べた内容をレポート等にまとめることができる。	・班で協働して作業するために、適切な表現を用いて声かけをしたり、適切な行動を取ることができる。 ・調べた内容をレポート等にまとめ、発表することができる。	①レポート ②授業態度 ③発表態度

使用教材 （教科書・副教材）	なし
学習方法	①全員で協力して農作物を育て、生育日誌を記入する。 ②各個人が興味・関心のあるテーマについてレポートを提出する。
評価について	①授業態度。 ②作物の生育の状況及び生育日誌の内容。 ③レポートの提出。 ④発表態度